

2016, 4, 1

日本海新聞

海 新 聞

2016年(平成28年)4月1日 金曜日

広

PR第1号設置

スペシャルオリンピックス日本・鳥取

ラッピング自販機で支援

湯梨浜



SON・鳥取の活動を支援しようと設置された自販機の前で握手を交わす関係者ら

知的障害者の自立や社会参加を目的に、スポーツ大会などを主催する「スペシャルオリンピックス日本・鳥取（SON・鳥取）」の活動を支援する飲料水の自動販売機が3月30日、湯梨浜町長和田の敬仁会救護施設ゆりはま大平園の体育館前に設置された。売り上げに対して10%が活動支援として寄付され

る。鳥取市緑ヶ丘2丁目の戸信（戸田暖久社長）が設置。支援自販機の第1号機で、活動資金とともに活動のPR効果も期待できるとして、SON・鳥取の藤井喜臣会長や平井りえ顧問らが出席して現地でセレモニーが行われた。設置先の同施設体育館はSON・鳥取のア

スリートのほか、一般の県民も含め年間5千人が利用。自販機には、SON・鳥取のロゴマークや昨年の鳥取地区総合開会式の様子がラッピングしてある。戸田社長は「多くの人にPRしたい」と話し、敬仁会の藤井啓子理事長や平井顧問らとがしっかり握手を交わした。（吉浦雅子）